

ごあいさつ

昨年11月の『魔笛』公演に引き続き、明石弦楽オペラ会の第2回公演としてモーツァルト作曲『フィガロの結婚』を上演いたします。

明石弦楽オペラ会は、明石にゆかりのある演奏家によって2019年1月に結成され、これまでにありそうでなかった

『弦楽四重奏伴奏による新しいオペラ公演』を明石から世界に向けて提案するべく活動をしています。

新型コロナウイルス流行の折、今回は一般的なオペラと比較して約1/4(17名)の必要最小限の人員、そして定員の半数以下の座席数(9月現在)とすることで、極力リスクを下げた公演とさせていただきます。

また、皆さまをはじめ出演者の安全・安心を第一に考え、練習時より検温、消毒、飛沫防止などの感染対策を徹底し、発表されている研究結果やガイドラインを順守いたします。

徐々にこれまでの生活を取り戻せることを切に願い、社会情勢の注視を怠ることなく開催に向けて努めます。

皆さまにおいても公演にお越しの際には、感染対策に何卒ご協力頂きますようお願い申し上げます。

明石弦楽オペラ会のホームページはこちら!
<http://akashiso.main.jp/>



新型コロナ対策として ご協力をお願いいたします



マスク着用



手洗い



手指の消毒



検温



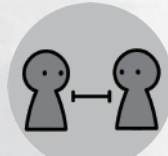
咳エチケット



追跡調査



休憩時の換気



座席距離の確保

※当日、発熱や咳などの体調不良がある方、そして濃厚接触の疑いがある方は、ご来場を控えて頂きますようお願い申し上げます。

物語のはじまり

舞台は18世紀半ばのスペイン南部セビリア。アルマヴィーヴァ伯爵に仕えるフィガロは今夜、伯爵夫人の侍女スザンナとめでたく結婚することになっている。

フィガロは結婚祝いとして伯爵から与えられた部屋で浮かれて家具の寸法を測っている。隣には浮かない様子スザンナ。どうしたものか聞いてみると、夫人に飽き始めた伯爵がスザンナに手を出そうとしているらしい。

—何てことだ! こうしてはいられない、どうにかしないと!

スザンナは利発な女性。実直なフィガロだけでは、狡猾な伯爵に良いようにあしらわれてしまいそうで心配している。

—あら、奥様がお呼びだわ。奥様ならば…

伯爵は思案する。スザンナをこちらになびかせたいが、当然ながらフィガロが邪魔になってくる。上手く引き離しておく手はないだろうか。音楽教師のバジリオなら丁度良い手駒となるかもしれない。

—聞くところでは、女中頭のマルチェリーナはフィガロに気があるそうではないか。それならば…

伯爵夫人は夫からの愛が消えつつあることをひしひしと感じている。昔はバルトロとの争いにフィガロを使って、あれだけ必死に愛を誓ってくれたというのに。

—まあ、またケルビーノがやってきたわ。

ケルビーノは伯爵に仕える思春期真っ盛りの男の子。とにかく女性が気になって仕方がない。優しくされたり微笑みを向けられるだけでドキドキしてしまう。

—恋ってどんなだろう? 僕はもう一人前の男だよ!

伯爵の邪な気持ちがきっかけで動き出すこの物語は、登場人物の色々な想いや企みが徐々に絡み合い、思いもよらない結末へと進んでいきます。最後に笑うのは誰でしょう?

果たしてフィガロは無事に結婚式を挙げるのでしょうか?

チケット販売

アワーズホール・明石市民会館
078-912-1234
(9:00~20:00 / 平日月曜休館)

※—————※

西部市民会館
078-918-5678
(9:00~20:00 / 平日月曜休館)

会場アクセス

電車でお越しの方

JR・山陽 明石駅より
徒歩15分

山陽 人丸前駅より
徒歩10分

車でお越しの方

① 明石市役所駐車場 (明石市中崎1-5-1)
1時間100円 / 250台収容

② 中崎展望広場駐車場 (// 中崎1-6-11)
1時間100円 / 96台収容

